

平成24年度
安全管理優良受注者
株式会社 高田組

平成23年度完成工事

平成22年度 水谷下流山腹工事
立山砂防事務所



1. 完成工事の概要

- ・ 法面工
 - 斜面对策工 ……6,280m² (鋼製ネット敷設)
 - 植生工 ……6,280m² (厚層基材吹付)
- ・ 崩落法面对策工
 - 高強度ネット…… 500m²
 - 鉄筋挿入 …… 121本
 - 短繊維混合特殊基盤吹付……500m²
- ・ 山腹水路工 1式

鉄筋挿入工施工状況



仮設設備 (全景)



現場状況

○ : 施工範囲



鋼製ネット敷設状況



モノレール荷台の改良



親網と縄梯子の併用



2. 社内の安全管理体制

社内パトロールの実施（毎月）



- ・ 社長、工務部長による社内パトロール
- ・ その場で改善指導を行う
- ・ 作業所は直ちに改善措置を行い、改善報告する

安全衛生委員会の実施（毎月）



- ・ 各現場の社内パトロール結果報告や指導を行う
- ・ 他の現場で実施している安全対策を紹介することで、会社と現場が一体となって、安全に対する意識の高揚を図っている

安全大会の実施（毎年）



- ・ 全社員および協力業者が参加して、安全意識の高揚を図る
- ・ 外部講師による講義を実施



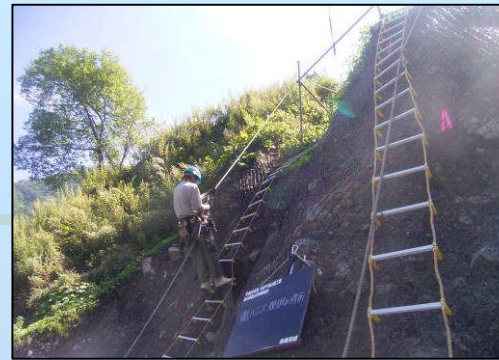
3. 工事現場における日々の安全活動

安全掲示板



- 安全施工サイクルを掲示するとともに、新規入場時にも説明する事で、全作業員に周知している
- 各項目の点検簿や日報を記録に残す事で、安全施工サイクルを確実に実践している

親綱と縄梯子の併用



- 法面作業の経験が無い作業員でも容易に昇降でき、墜落・転落災害を防ぐ上で非常に効果的であった

安全標語



- 作業員自らが考えた安全標語を、現場に掲示することにより、見慣れない掲示物に目を留め、安全意識の高揚につながるようにした

参加型安全教育・訓練の実施



- 過去に経験したことがある「ヒヤリ・ハット体験」を記入してもらい、それを発表することにより、その原因や対策を全員で検討した
- モノレール積載資材及び数量を記載した問題を作成し、テスト形式で出題した

ソーラー式拡声器



- 雨量の早期伝達
- 野生動物接近防止対策
- 場内一斉放送による連絡体制の確立

ロリップの始業前点検



- 法面作業において命綱となる、ロリップの点検設備を朝礼場所に設置した



4. 安全教育の充実

社内教育の取り組み

- ・ 社内外での一般教育、資格認定教育を積極的に受講して、社員の資質向上に努める。
- ・ 情報の水平展開（講習会参加者による講習内容の発表）
- ・ 防災訓練（災害対策用機械の操作訓練）

社内教育



防災訓練



5. その他顕著な活動

官公庁の緊急応援対策業務

- ・神通川、富山河川国道事務所との協定
- ・富山県、富山市との非常災害時における自主パトロール協定

ボランティア業務

- ・神通川水系熊野川における環境整備活動
- ・「ふるさと富山美化大作戦」への参加
- ・除雪ボランティア「おらっ
ちゃ雪かき隊」への参加

